令和６年度第３回相模原地域地域医療構想調整会議　資料２

非稼働病棟を有する医療機関への対応について

神奈川県健康医療局保健医療部医療企画課

目次・論点

- 令和５年度第３回の保健医療計画推進会議において、「今後、非稼働病棟・病床の取扱いについて、地域の意見を伺いながら検討する」旨、ご説明しました。
- 本資料で、非稼働病床に関する今後の対応方針について協議を行います。

1. 非稼働病棟についての考え方
2. 非稼働病床数の推移
3. 本県におけるこれまでの対応
4. 今後の対応方針
5. 実態把握調査の項目（案）
6. 今後のスケジュール
7. ご意見をいただきたい事項

非稼働病棟についての考え方

国通知により、次のとおり対応方針が示されている。

平成30年2月7日医政地発0207号第1号「地域医療構想の進め方について」

■ 都道府県は、病床機能報告の結果等から、病床が全て稼働していない病棟（過去１年間に一度も入院患者を収容しなかった病床のみで構成される病棟）を有する医療機関を把握した場合には、**速やかに、当該医療機関に対し、地域医療構想調整会議へ出席**し、以下について説明するよう求めること。

①病棟を稼働していない理由
②当該病棟の今後の運用見通しに関する計画

■ ただし、病院・病棟を建て替える場合など、事前に地域医療構想調整会議の協議を経て、病床が全て稼働していない病棟の具体的対応方針を決定していれば、対応を求めなくてもよい。

非稼働病棟についての考え方

平成30年2月7日医政地発0207号第1号「地域医療構想の進め方について」

【留意事項】

■ 都道府県は、病床がすべて稼働していない病棟を再稼働しようとする医療機関の計画を把握した場合には、以下について、地域医療構想調整会議において、十分に議論すること。

① 当該医療機関の医療従事者の確保に係る方針

② 構想区域の他の医療機関の診療実績や将来の医療需要の動向等を踏まえ、現在稼働している病棟の稼働率を上げたとしても、なお追加的な病棟の再稼働の必要性があるか否か

■ 特に、再稼働した場合に担う予定の病床機能が、構想区域において過剰な病床機能である場合には、過剰な病床機能へ転換するケースと同様とみなし、より慎重に議論をすすめること。

非稼働病床数の推移（出典：病床機能報告、単位：床、（　）内は全体の割合）

構想区域	区分	R１	R５	基準病床数【A】	既存病床数 R6.4.1	既存病床数からR５の非稼働病床数を引いた病床数 【B】	差引【B-A】	類型
県全体	合計	61,533	61,330					
	休棟中等	933 (2%)	1,177 (2%)	61,766	60,253	59,076	△ 2,690	
横浜	合計	23,216	23,341					
	休棟中等	158 (1%)	283 (1%)	25,209	23,386	23,103	△ 2,106	A
川崎北部	合計	4,362	4,331					
	休棟中等	21 (0%)	20 (0%)	4,279	4,113	4,093	△ 186	A
川崎南部	合計	4,865	4,703					
	休棟中等	108 (2%)	91 (2%)	3,658	4,585	4,494	836	B
相模原	合計	6,316	6,043					
	休棟中等	148 (5%)	94 (2%)	6,389	5,910	5,816	△ 573	A
横須賀・三浦	合計	5,320	5,322					
	休棟中等	217 (4%)	151 (3%)	5,238	5,183	5,032	△ 206	A

（休棟中等は、当該年度の病床機能報告で、７月１日時点の機能について「休棟中（再開予定）、休棟中（廃止予定）、未選択」として報告された病床数を集計）

非稼働病床数の推移（出典：病床機能報告、単位：床、（　）内は全体の割合）

構想区域	区分	R１	R５	基準病床数【A】	既存病床数 R6.4.1	既存病床数からR５の非稼働病床数を引いた病床数 【B】	差引【B-A】	類型
湘南東部	合計	4,271	4,369					
	休棟中等	55 (1%)	54 (1%)	4,726	4,301	4,247	△ 479	A
湘南西部	合計	4,681	4,722					
	休棟中等	155 (3%)	365 (8%)	4,360	4,537	4,172	△ 188	B'
県央	合計	5,472	5,478					
	休棟中等	20 (0%)	21 (0%)	5,229	5,324	5,303	74	B
県西	合計	3,030	3,021					
	休棟中等	51 (2%)	98 (3%)	2,678	2,914	2,816	138	B

- 非稼働病棟は毎年総病床数の1～2%で推移。湘南西部、横浜、横須賀・三浦地域の数が多い。
- 非稼働病床返上後の類型

【Ａ】新たな病床整備が可能な地域
【Ｂ】新たな病床整備が不可能な地域
【Ｂ‘】非稼働病床を返上した場合、新たな病床整備が可能になる地域
※ただし、湘南西部のR5休棟中365床には、今後稼働予定の徳洲会湘南大磯病院の病床218床を含む

本県におけるこれまでの対応

- 対象医療機関数が多いことから、病床機能報告に基づき休棟中の病棟を持つ医療機関を把握し、実態把握のための調査を実施。（H30、R1年度）
- 調査結果を地域医療構想調整会議で共有し、意見交換を行っていた。
- **新型コロナウイルスの感染拡大により令和２年度以降調査実施は見送り**

調査の概要	
調査対象	・７月時点の病床機能を「休棟中」として回答した病棟または診療所 ・病床機能は「休棟中」以外の機能で報告しているが、全病床を「非稼働病床（過去１年間患者が入院していない）」として回答した病棟または診療所
調査項目	・現在の病棟の状況 ・休棟または非稼働の始期 ・理由 ・再開見込み・今後の予定等
非稼働の主な理由	・スタッフの不足（看護師の不足が最も多い） ・利用者の減少 ・工事に伴う一時的な休止　等

今後の対応方針

- 地域医療構想の目標年である2025年においても、1,000床以上の非稼働病床が見込まれている。
- また、昨年、第８次神奈川県保健医療計画策定にあたり、基準病床数についての協議を行う中で、**現在の医療資源を最大限に活用し、効率的な医療提供体制を維持していくためには、非稼働病床・病棟も減らしていく必要がある**、といった意見があった。

【対応方針（案）】

➢ **実態把握調査の再開**
- 病床機能報告で非稼働となっている病棟について、実態把握調査を実施
- 調査項目は、地域医療構想調整会議等で意見聴取の上、決定

➢ **地域医療構想調整会議で協議**
- 地域の非稼働病棟の状況を確認
- さらに説明を求める必要があると判断した医療機関については、次回以降の調整会議への出席等を求める
- なお、協議は病床の返上を目的にするものではなく、地域の現状を把握するために行うこととする

実態把握調査の項目（案）　※webフォームにより実施

【対象医療機関】

■　令和５年度病床機能報告において、
　・令和５年７月１日時点の機能を休棟中と回答した病院、有床診療所
　・令和５年７月１日時点の機能は「休棟中」以外の機能で回答しているが、最大使用病床数（年間に最も多く入院患者を収容した時点で使用した病床数）が０である病院、有床診療所

1　基本情報
・医療機関名 ・所在地 ・許可病床数 ・うち、非稼働病棟の病床数（令和５年７月１日現在）
2　現在の病棟の状況　（病床機能報告の報告時点令和５年７月１日から状況に変更があるかどうか確認）
ア　既に稼働済　（再稼働時期：　　年　　月）　→　以降の回答は不要 　　再開後の病床機能等：　a 高度急性期　b 急性期　c 回復期　d 慢性期 イ　病床返還済　（返還時期：　　年　　月、　返還病床数：　　床）→　以降の回答は不要 ウ　休棟・非稼働のまま　→　２以降も回答
3　休棟または非稼働の始期
年　月から

実態把握調査の項目（案）

4　休棟または非稼働の理由　（複数選択可）

ア　スタッフの不足
　＜不足職種・不足数＞
　ａ 医師　　：　約（　　）人不足
　ｂ 看護師　：　約（　　）人不足
　ｃ 介護士　：　約（　　）人不足
　ｄ その他職種（　　）：　約（　　）人不足
イ　利用者の減少　　ウ　入院対象者がいなかったため　　エ　分娩取扱休止のため
オ　改修工事・建替工事に伴う一時的なもの　　カ　その他

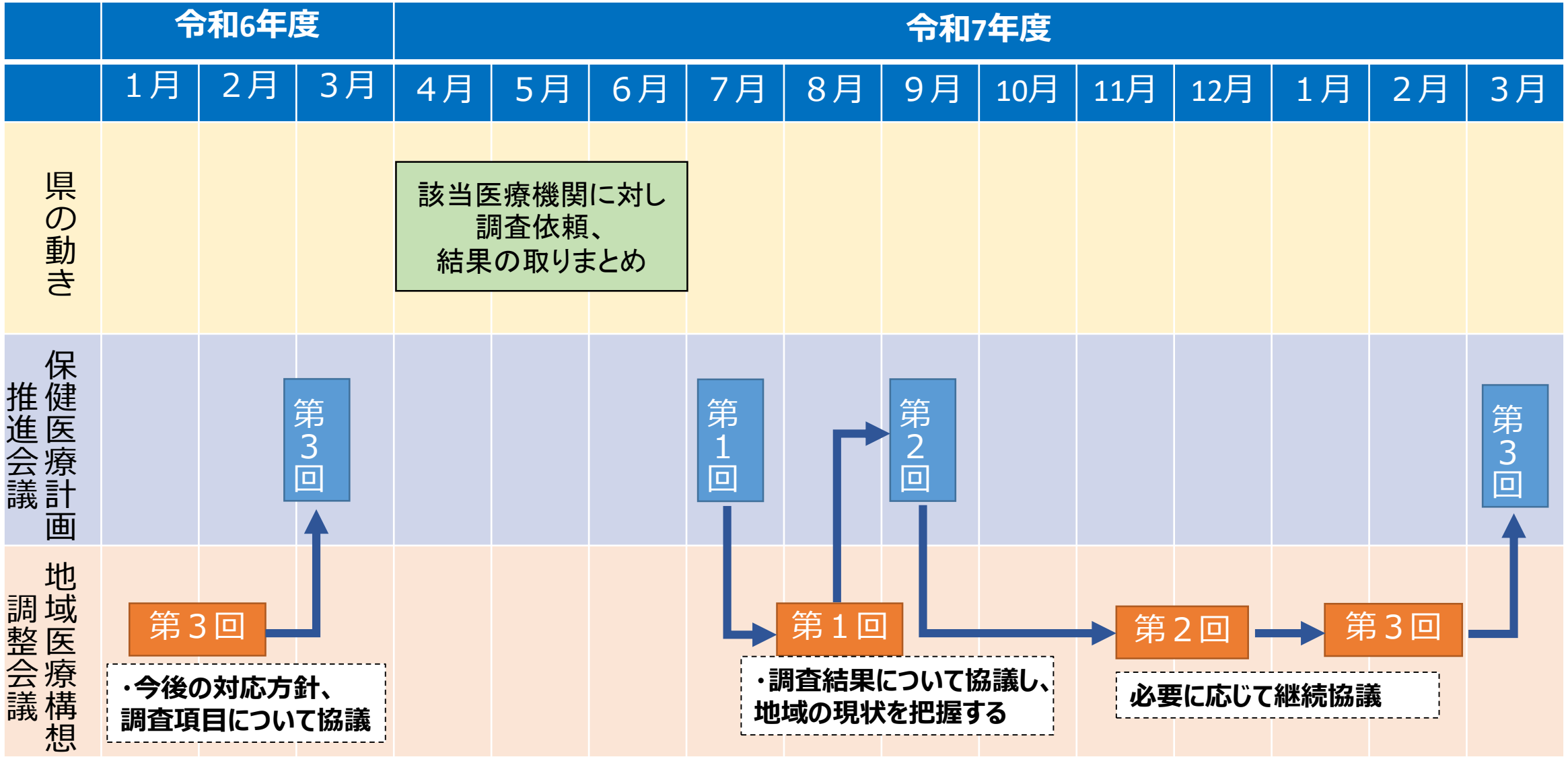
5　再開見込・今後の予定等

ア　再開の目途がたっている
（予定時期：　　年　　月頃）
　再開後の病床機能等：　ａ 高度急性期　ｂ 急性期　ｃ 回復期　ｄ 慢性期　ｅ 介護医療院　ｆ その他
イ　病床の返還を予定　（予定時期：　　年　　月頃、　返還病床数：　　床）
ウ　再開の目途がたっていない
　・いつ、どういった課題を解消すれば見通しが明らかになるのか、具体に記載
　・課題解消に向けた対応方針（再稼働までのスケジュール、人員確保計画等）について、具体に記載

6　その他　補足・追記すべき事項について

自由記載

今後のスケジュール（案）


令和6年度
令和7年度
1月
2月
3月
4月
5月
6月
7月
8月
9月
10月
11月
12月
1月
2月
3月
県の動き
該当医療機関に対し
調査依頼、
結果の取りまとめ
保健医療計画推進会議
第3回
第1回
第2回
第3回
地域医療構想調整会議
第3回
第1回
第2回
第3回
・今後の対応方針、
調査項目について協議
・調査結果について協議し、
地域の現状を把握する
必要に応じて継続協議

ご意見をいただきたい事項

■ 非稼働病棟を有する医療機関に対する今後の対応案について

・実態把握調査の実施
・調査結果を踏まえた地域医療構想調整会議での協議について

■ 実態把握調査の調査項目について